省エネ循環型の暮らし学ぼう

京の環境NPOと美山のカフェ連携

24日からツアー　有機農法を体験

（下京）（南丹）省エネ社会の実現を目指すNPO法人（特定非営利活動法人）「きょうとグリーンファンド」（京都市下京区）と南丹市美山町の自然派カフェ「アースガーデン」がタッグを組み24日から、循環型のライフスタイルを都会人に伝えるスタディーツアーを始める。

同法人が府内各地の保育園などへ普及を進めている太陽光発電設備「おひさま発電所」を9月、同カフェに設置したのがきっかけ。カフェが発電で得た資金を同法人に寄付し、新たな発電所づくりに役立てる関係ができたことで「農村での取り組みを基に、都市部のライフスタイルを考え直す手がかりにしてもらおう」（同法人）と企画した。

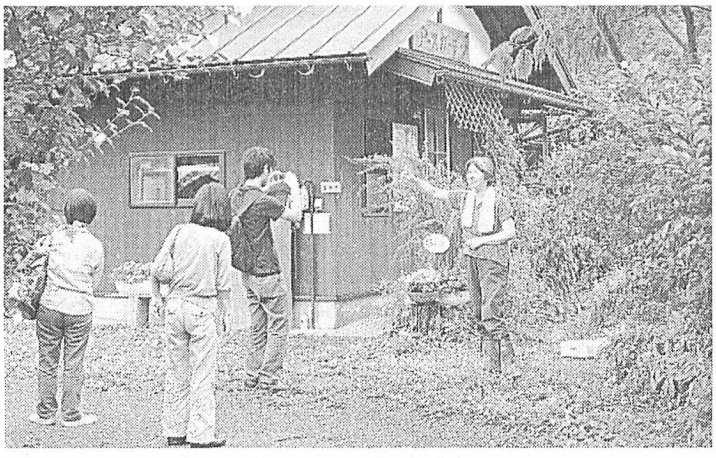
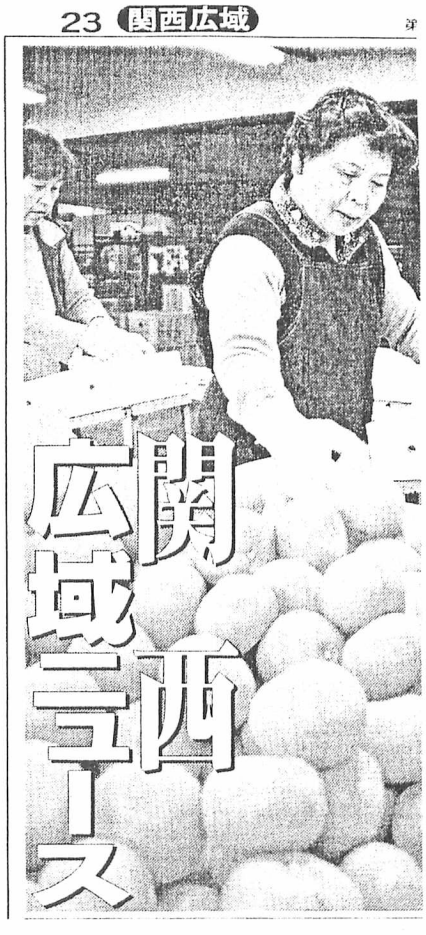
スタディーツアーは同カフェが舞台で来年夏までの4回。自然エネルギー活用の現状を見学するほか、7年前に美山町へ移住し薪ストーブの利用や排水の再活用、生ゴミの堆肥化などを実践する経営者、植月千砂さん（60）の持続可能なライフスタイルに触れる。

初回は24日午後2時から。有機農法の手法や輪作・連作の進め方、害虫を付きにくくする植え合わせ法―など都市部でも応用できる「自給ガーデン」の作り方を学ぶ。

「グリーンファンド」の大西啓子事務局長（59）は「『未来の暮らし方』とも言えるカフェの姿を広く発信したい」と話している。

参加料は1回3千円。現地集合。定員10人。申し込み（23日まで）、問い合わせはアースガーデン☎077（77）5015。

（本田貴信）



スタディーツアーの舞台となる「アースガーデン」（南丹市美山町内久保）